



②

The Third Year

● Kako
・高校2年生

私は「都市型農業×インテリア」という異色と思えるような組み合

目指してイベントに出展している農業をインテリアとして魅せながら、健康／福祉の面での活動も

私が特に注目している目標は、「気候変動に具体的な対策を」や「海の豊かさを守ろう」な

みなさん、こんにちは。今月は、「SDGs for School × 曹洞禅 The Third Year」 × バーの気になるターゲット、いま取り組んでいるアクション（行動）や調べていることなどをお届けします。みなさんは、どんな活動やアクションに関心がありますか？

また、イベントや日々の活動内で出会った方の様子を見ると、植わっている植物を観た時に何らかの心身の変化が見受けられることがあります。これは、SDGs 3番の健康と福祉に対して農業が関連し何らかの良い影響を与えてくれると考えています。

●るーな
・高校1年生

私が特に注目している目標は、「気候変動に具体的な対策を」

SDGs 17 の目標の中に農業についての目標があります。農業従事者の減少や若者の農業離れに対する何らかの変化を起こせないかと思いまして、高校生も社会人メンバーで模索しながら活動をしています。



F.A.R.M.

ので見かけたらぜひ声をかけてください！





ど環境問題に関するものです。小4の頃、学校の講話で知った緑のダムの凄さと、友達の「2020年に地球が高温になり人類が滅亡する!」という言葉を信じたことがきっかけです。子供でも社会課題解決に関わると知った今は団体などで活動中です。



MINAMIRAI

できると私は考へています。
SDGsの17の目標の中で、私が着目したのは12番(つくる責任)です。私は、普段から残さず食べるようになっています。しかし、日本での食品ロスは、国連2019年の報告書によると、年間約522万tの食べられるものが捨てられていることが調べてわかりました。解決するためにはまず、感謝して残さず食べることが大事だと思います。私達は、動物や植物の命を頂いています。その命を活かすためにも残さず食べる責任を持ちましょう。次に、ご



○ふりん ・高校2年生

飯を作りすぎて腐らせてしまった経験がある人もいるかと思います。作りすぎないよう適切な量をつくることも大切だと思います。このように、小さなことでも一人ひとりが積み重ねていくことが大切だと思っています。
私がいま、一番気になっているのは、学校の給食の食品ロス問題です。SDGsの2番「飢餓をゼロに」や12番「つくる責任つかう責任」などに当たります。私の学校では、給食後に大量の料理が残り捨てられています。食べ残しも多くあります。そこで私は、じく



○ののは ・中学3年生





品を肥料に出来る「コンポスト」
という取り組みを始めました。出来た肥料でお花を育てて、給食を作ってくれている方々にお渡しすることもできました。でも、活動をしていると、コンポスト一つで消化できる残飯の量は少しであり、たくさん出る食品ロスを0にすることは不可能だという欠点に気づきました。このことから、一つの問題を解決する難しさというものが実感しました。今後も色々な方法を試しながら、少しでも食品ロスが減るように、たくさん考え、そして



行動していきたいです。



○ほら ・大学3年生

私は、SDGsの12番「つくる責任 つかう責任」に強く関心を持っています。みなさん、服やファッションは好きですか？ オンラインショッピングが発展し、今は在宅でも服が簡単に手に入れられる世の中になっています。その服は一体、どの国で、どんな環境で、どんな人たちが作っているのでしょうか。私は、アパレル産業が抱える問題を知るまで、考えたこともありませんでした。多くの衣服が当たり前のように安く買えるのは、必要以上に大量生産した

り、コストを抑えたりしているのです。私はそのことを知り、古着回収を行う学生団体に所属しました。イベントのブースで古着回収や、啓発活動を行っています。私は自身は、周りの友達など身近なところからも回収しています。私は、すぐに捨てる服は最初から買わずに、捨てるときは古着としてリサイクルする、といった身近ではない、捨てるときは古着として簡単なアクションを心がけています。当たって前にモノがあふれる社会で、その裏側に気づけない人がほとんどだと思います。だから、一人ひとりの気づきや、積極的なアクションが肝心になると考えています。私もヒトとして、できる身近なアクションを起こしていきます。